

委員会活動報告書

委員長名 岸 恵美子

【委員会名】 保健師基礎教育検討委員会(特別プロジェクト)	
【メンバー】 ◎岸恵美子(東邦大学)、五十嵐千代(東京工科大学)、和泉京子(武庫川女子大学大学院)、大木幸子(杏林大学)、大森純子(東北大学)、斉藤恵美子(首都大学東京)、*佐伯和子(北海道大学名誉教授)、¥鈴木良美(東京医科大学)、坪川トモ子(新潟青陵大学)、中板育美(武蔵野大学)、中嶋寿絵(富山県立総合衛生学院)、野村美千江(愛媛県立医療技術大学)、鳩野洋子(九州大学)、山口忍(茨城県立医療大学) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 質の高い保健師育成のために、保健師基礎教育における教育内容・方法や教育体制のあるべき姿を検討し提案する。	
2019(令和元)年度	
達成目標	1. 卒業時の到達度、教育内容・方法、教育体制の現状を分析し、保健師基礎教育の課題、教育内容・方法の見直しの方向性を検討する。 2. 保健師基礎教育に今後必要な教育内容・方法を検討する。
活動報告	1. 保健師に今後必要な教育内容・方法を検討し、厚労省・文科省の会議に本協議会として提案した。 1) 保健師基礎教育調査(全国保健師教育機関協議会, 2018)の結果、これまで実施した会員校への調査結果、各委員会の成果報告書等から、卒業時の到達度、教育内容・方法、教育体制の現状の分析を行い、「看護基礎教育検討会」および「保健師ワーキング」、「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会」での検討の根拠となるよう情報提供した。 2) 全国保健師長会の協力を得て、自治体の統括的な役割を担う保健師に「新任保健師の実践状況調査」を実施し、会員校に対しても、「保健師基礎教育における実習体験に関する会員校調査」を実施した。保健師ワーキングでは一部その結果を示し、発言の根拠とした。 2. 新カリキュラムの検討を進める教育機関への情報提供のために、「(標準的)大学院カリキュラムモデル検討ワーキング」を立ち上げ、大学院のカリキュラムモデルを検討した。ワーキングの成果については、6月の総会以降に報告する予定である。 3. 委員会の開催 看護基礎教育検討会および保健師ワーキングの動向を踏まえて適宜会議(メール会議を含む)を開催し、保健師基礎教育について検討を行った。必要に応じ、保健師ワーキングメンバーおよび関連団体にも助言者として会議に参加してもらった。